

# 平成30年度琴浦町中学生アンケート実施結果報告書

## 【調査目的】

この調査は、平成27年度に策定した「琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における取り組みの中で実施しました。

少子高齢化が進む本町において、将来を担う中学生の、琴浦町に対する関心や認知度、及びふるさとへの愛着度等を把握し、将来、琴浦町に住みたい、帰ってきたいと思えるまちづくりへの参考とするものです。

【実施時期】 平成31年1月

【調査対象】 町立中学校の1年生から3年生 合計414人  
(東伯中学校251人、赤碕中学校163人)

【回答率】 91.3% (回答者378人)

このアンケート結果について、次のとおり報告します。

平成31年3月6日

琴浦町長 小松 弘明

【問合せ先】 琴浦町地方創生推進室

電話番号 (0858)52-1708

ファックス (0858)49-0000

メール kikakujoyouhou@town.kotoura.tottori.jp

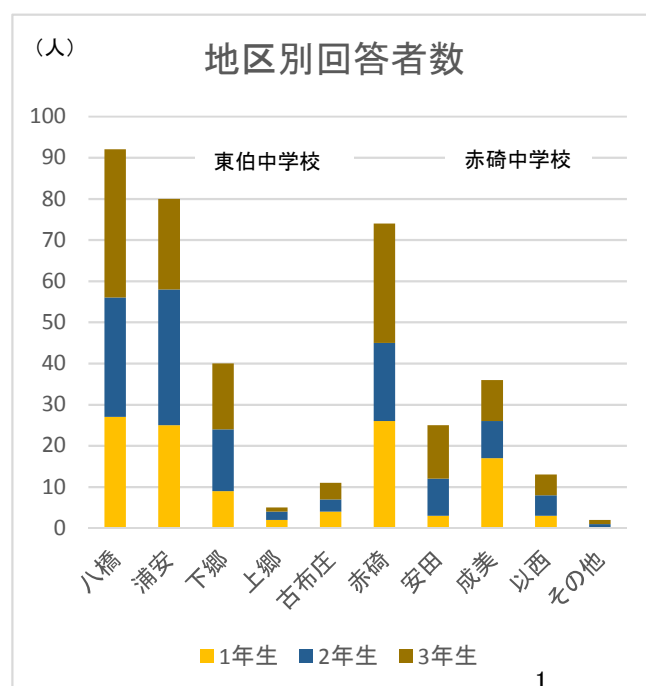
## 集計結果について

### 【問1】 アンケート回答者について

学校名	対象者	回答者	回答率
東伯中学校	251人	230人	91.6%
赤碕中学校	163人	148人	90.8%
合計	414人	378人	91.3%

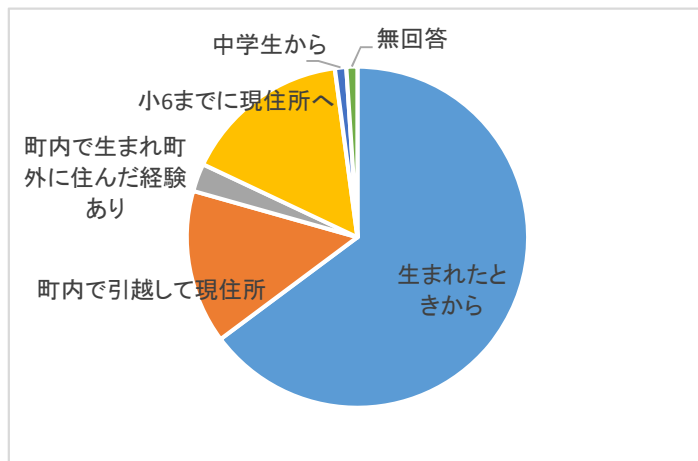
### 回答者内訳(地区別)

学校名	性別	1年生			2年生			3年生			小計	合計
		1	2	3	1	2	3	1	2	3		
東伯中学校	八橋	27	29	36	92	230						
	浦安	25	33	22	80							
	下郷	9	15	16	40							
	上郷	2	2	1	5							
	古布庄	4	3	4	11							
	その他	0	1	1	2							
小計		67	83	80	230							
赤碕中学校	赤碕	26	19	29	74	148						
	安田	3	9	13	25							
	成美	17	9	10	36							
	以西	3	5	5	13							
	小計		49	42	57		148					



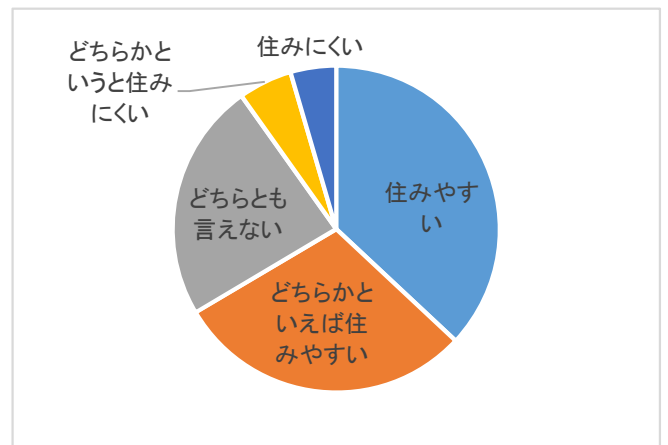
【問2】 いつから現在の場所に住んでいますか。

○およそ2/3の生徒が、生まれたときから現在の場所に居住している。



【問3】 琴浦町は住みやすいまちだと思いますか。

○およそ2/3の生徒が、住みやすい町だと回答している。



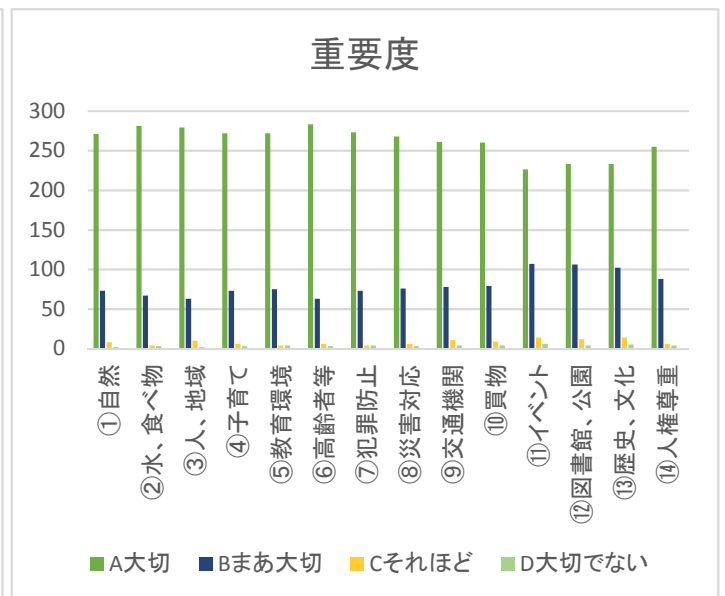
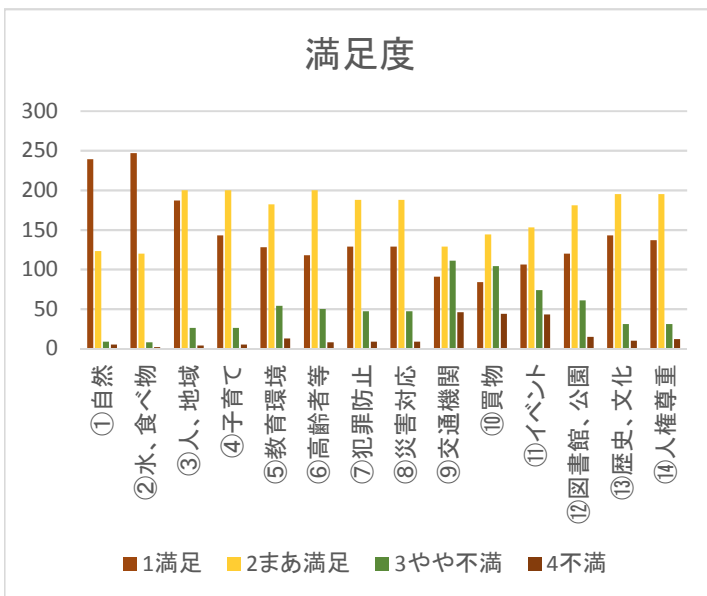
【問4】 次のことについて、どのくらい満足していますか。また、これからのまちづくりで大切だと思いますか。

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| ① 山や海、川などの自然の豊かさ      | ⑧ 災害への準備や対応             |
| ② 水や食べ物のおいしさ          | ⑨ 交通機関(バスや自動車など)の利用しやすさ |
| ③ 人のやさしさ、地域のつながり      | ⑩ 買物などの便利さ              |
| ④ 子どもの暮らしやすさ、子育てのしやすさ | ⑪ 祭りなどのイベントやレジャー施設の充実   |
| ⑤ こども園や小中学校などの環境のよさ   | ⑫ 図書館や公園など町の施設の使いやすさ    |
| ⑥ 高齢者、障がいのある人の暮らしやすさ  | ⑬ 歴史や文化財などを大切にする取り組み    |
| ⑦ 犯罪や交通事故を防ぐ取り組み      | ⑭ 男女平等や人権尊重の取り組み        |

満足度	1 とても満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかといえば不満	4 とても不満
重要度	A とても大切	B どちらかといえば大切	C どちらかといえば大切ではない	D 大切ではない

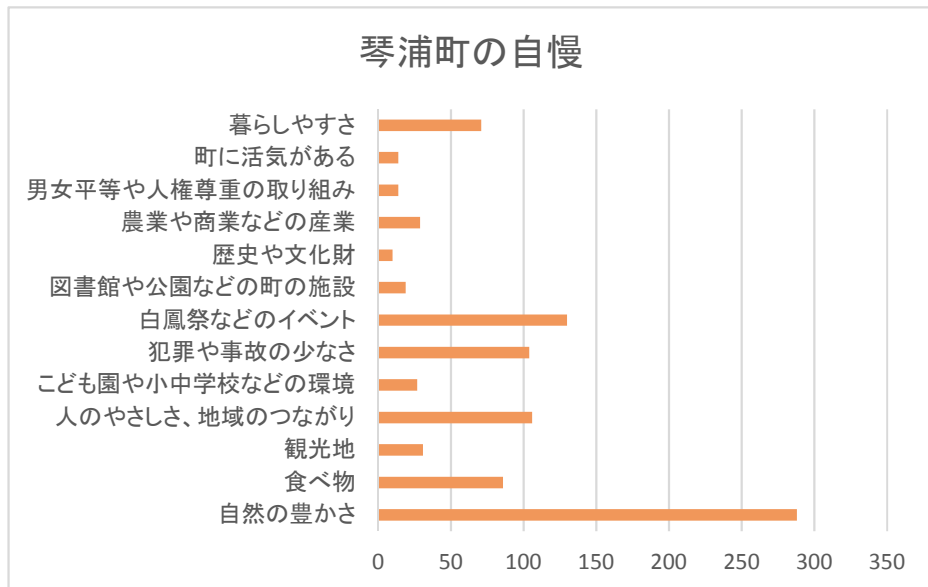
○自然や食べ物、人や地域のつながりに満足している生徒が多く、特に中山間地域ではその傾向がある。  
 ○全体的に今の生活に満足している生徒が多い一方で、バスや自動車などの公共交通や買物などに不満や不便を感じる生徒がやや多い。  
 ○イベントなど楽しむ機会が少ないことを不満に感じている傾向がある。  
 ○教育環境、災害対応などへの満足度が、H29に比べて若干低下。

○ほぼすべての事項を重要と感じているが、イベントや歴史・文化について、あまり重要に感じていない生徒が若干ある。



【問5】琴浦町で自慢できるものは何ですか(3つまで)。

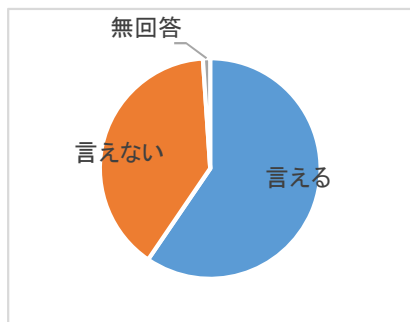
- 自然の豊かさや人のつながり、暮らしやすさやと、白鳳祭などのイベントを自慢に感じている割合が高い。
- 公共施設などの施設面や、観光地などについては低いが、町の歴史や観光地などについて、あまり認知されていないことも要因と考えられる。
- 昨年度のアンケート結果とほぼ変わらない結果となった。



※特に回答の多かったもの  
 梨、牛骨ラーメン、海の幸、あごカツ、おたふくまんじゅう、サーモン、牛乳  
 鳴り石の浜、船上山、白鳳祭

【問6】琴浦町の名産品、観光地などを3つ以上言えますか。

- 名産品では特に、梨・あご製品、牛骨ラーメン、白バラ製品などが多く、サーモンも認知されてきた。
- 観光地では鳴り石の浜や船上山などの回答が多く、西側の観光地が認知されている傾向がある。

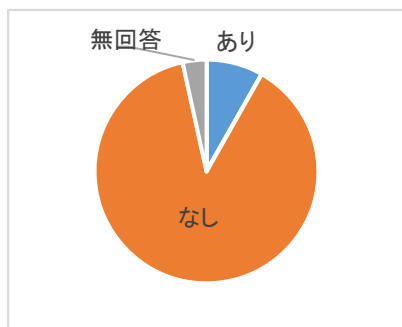


※「言える」と回答した割合が、H29よりわずかながら上昇

※例えば  
 名産品: 梨、あごかつバーガー、あごちくわ、ふろしきまんじゅう、白バラ製品、牛骨ラーメン、グランサーモン、芝、ミニトマト  
 観光地: 鳴り石の浜、船上山、光の饅絵、波しぐれ三度笠、花見淵墓地、河本家住宅、神崎神社、塩谷定好写真記念館

【問7】琴浦町について関心や知りたいと思うことがありますか。

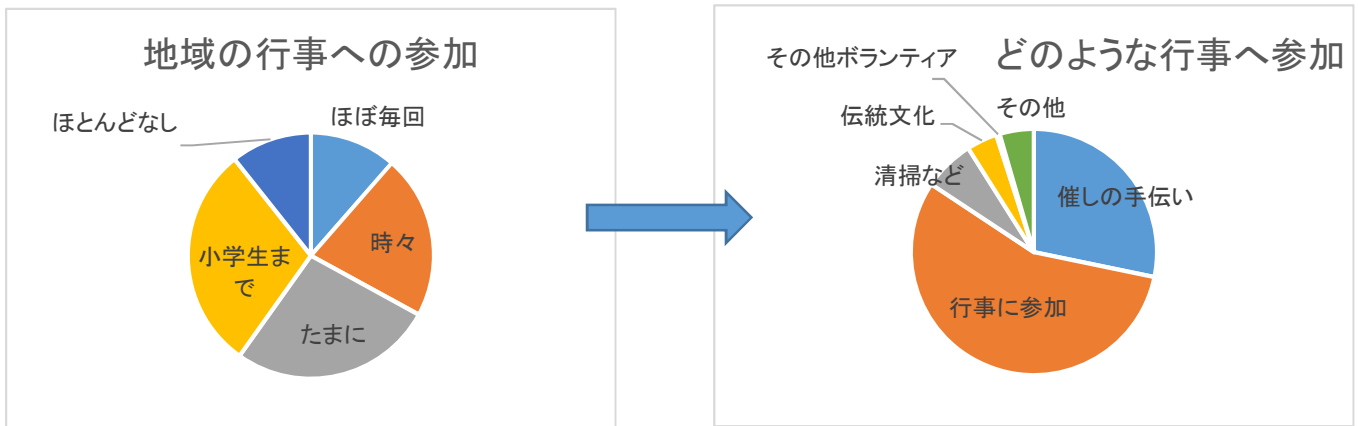
- 町への関心がほとんどないか、一部の生徒に限られている。



※関心のあること(例えば)  
 琴浦町の歴史、琴浦町について、すべて、食べ物、他の県から見て有名なこと、なぜこんなに不便なのか、いつ合併したか、白鳳祭はなくなるのか、町外からの観光客を楽しませる工夫、いいところ・課題、目指す町のすがた、どんな名産品があるか、グランサーモンについて、前町長は今どうしているか、なぜ町にお金がないのか、姉妹都市について、町の人口、自然について

**【問8】地域の行事に参加していますか。**

- 全体的に中学生になると参加する機会が減るが、中山間地域の生徒は参加する割合が高い。
- 参加する場合の約半数は、催し物に参加するだけの生徒が多い。
- H29に比べ、催しの手伝い、行事への参加が多い。
- 参加しない理由で一番多いのが「めんどくさい」、次いで「部活があるから」。



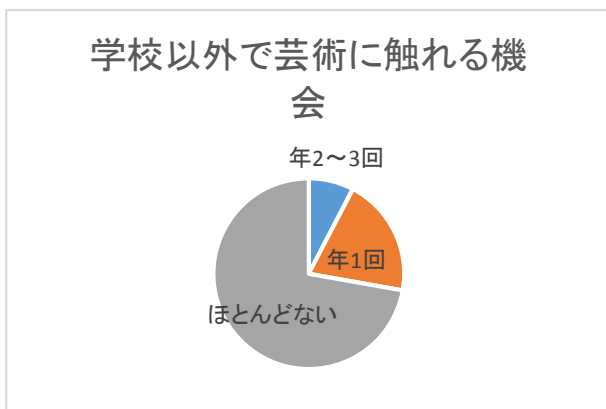
**【問9】町内のイベントに参加していますか。**

- 合併前の旧町の夏祭り(白鳳祭・波止の祭り)は中学生になってからも参加する割合が高い。
- 白鳳祭は、およそ半数が「毎年参加している」と回答。



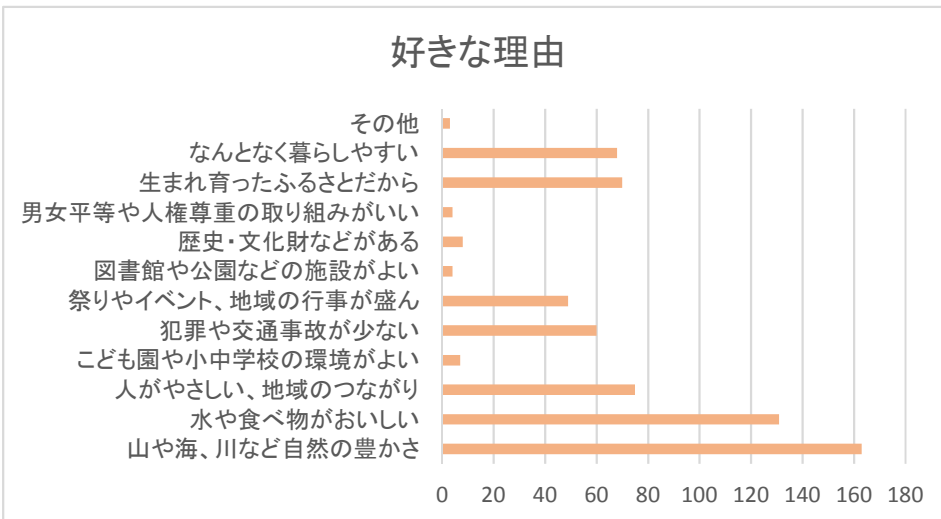
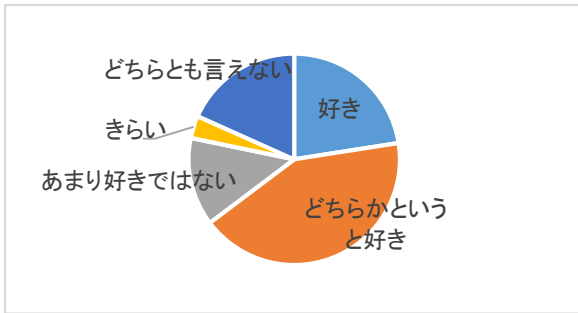
**【問10】学校の授業以外で美術館や劇場などに行く機会がありますか。**

- 多くの生徒が、学校以外で芸術に触れる機会が少ない傾向にある。
- 学校のカリキュラムによる観劇やコンサートは、芸術に触れる貴重な体験となっていると思われる。

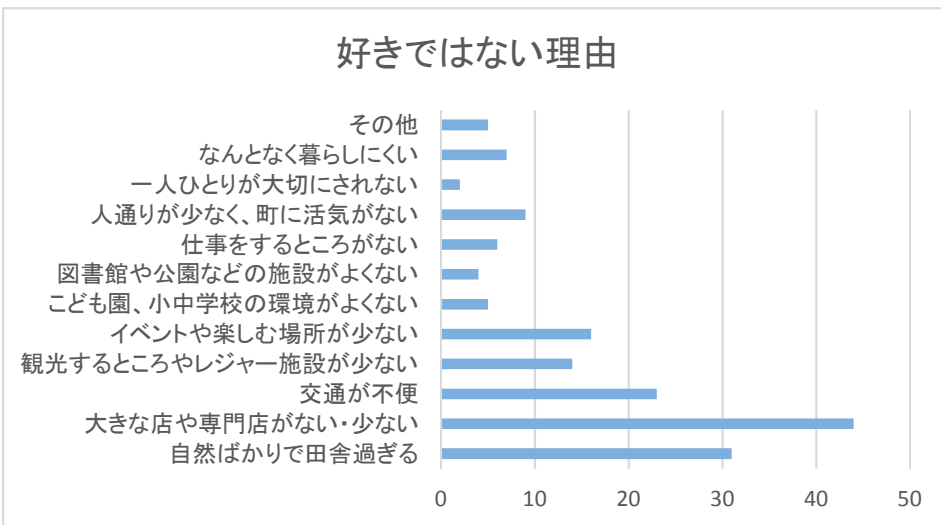


【問11】 あなたは琴浦町が好きですか。

○ およそ2/3の生徒が、「好き」「どちらかという好き」と答えており、地域差はほとんどみられない。



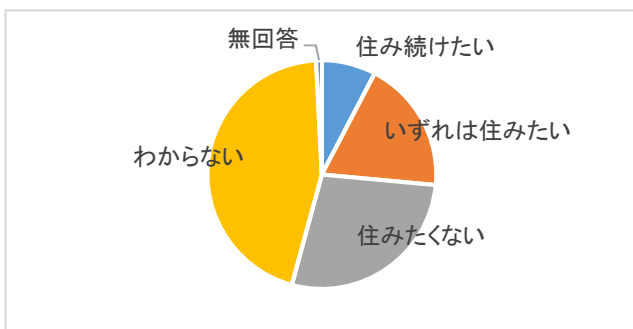
※その他  
全部、魚釣りができるところ



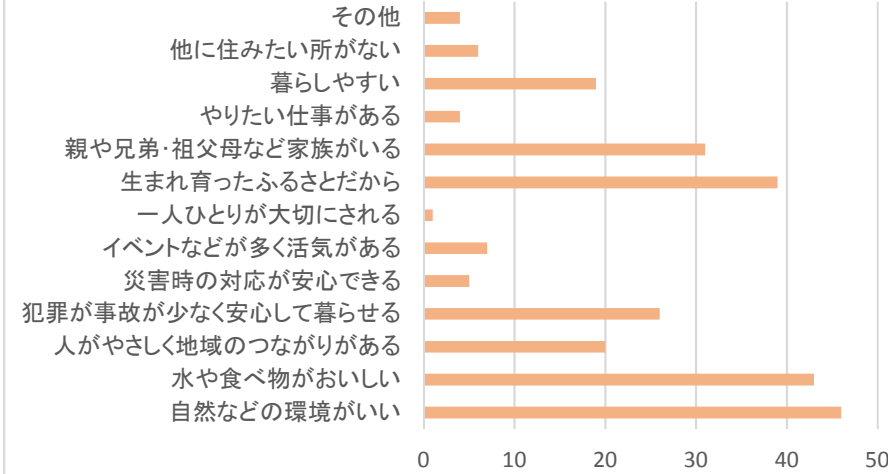
※その他  
すべて、観光するところがない、何もなし、海にごみがある

【問12】 大人になったとき(就職するとき)、琴浦町に住み続けたいですか。

○ およそ半数は「分からない」と回答。「住みたい」「いずれは住みたい」と「住みたくない」と答えた生徒が、それぞれおよそ1/4ずつで、同じ割合となっている。

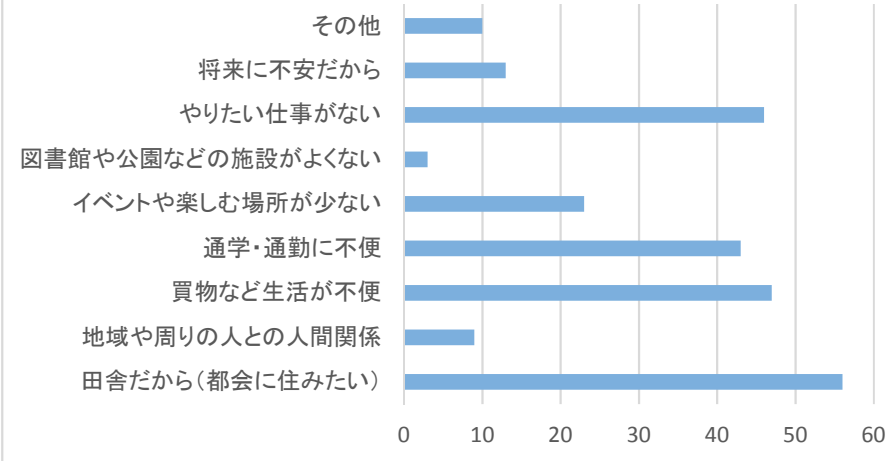


### 住み続けたい理由



※「地域のつながり」が増加  
 ※その他  
 琴浦町に貢献するため、家を継がないといけない、物価が安いから、羽田空港で働きたい、イベントの交通費を減らすため、全部

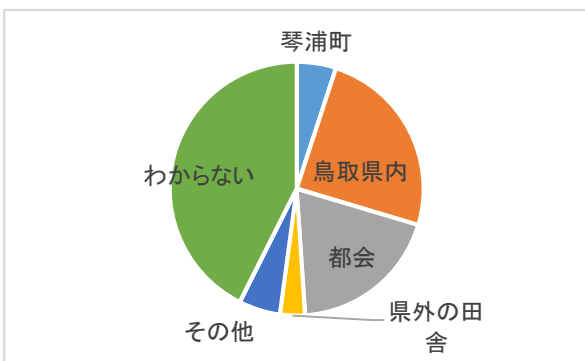
### 住み続けたくない理由



※その他  
 県外、海外でしたい仕事がある、都会に住みたい、将来したいことがここではできない、働く場がない、全部

### 【問13】 自分が40歳になった頃、どこに住んでいたいですか。

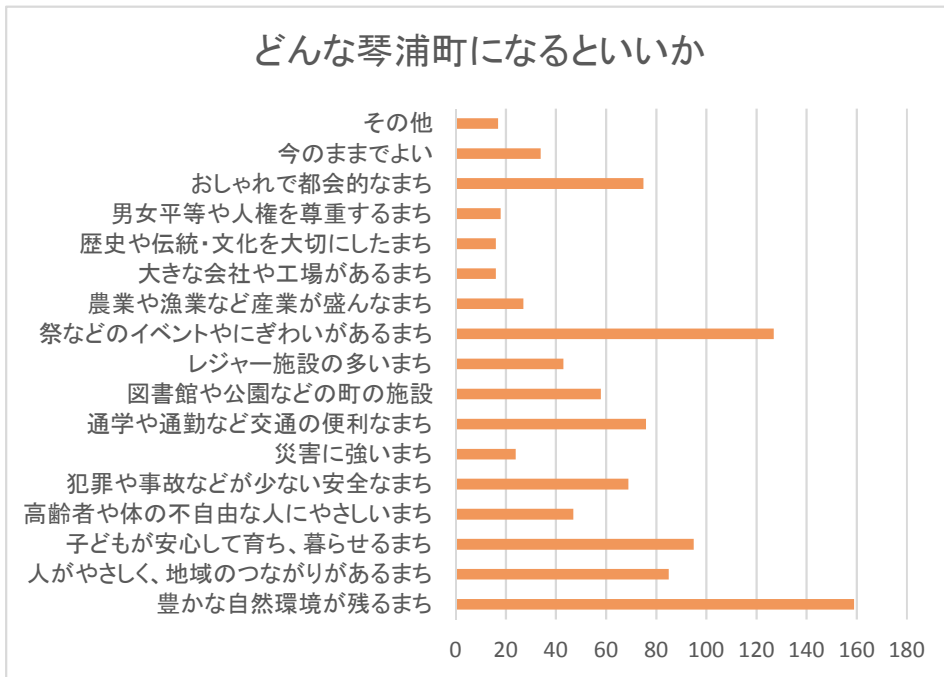
○「わからない」との回答が多い。H29より「町内・県内」の回答はおよそ8ポイント減少。



※その他  
 県外の都会、東京、都会の近く、海外(アメリカ、ブラジル、イギリス、ウイーン)、住みやすい所

【問14】 今後、琴浦町がどんな町になればよいと思いますか。

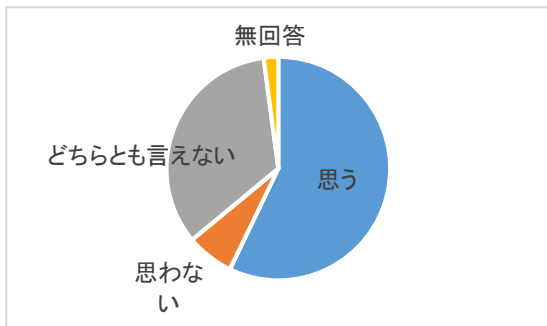
- 自然環境を大切に感じる一方で、イベントなどによるにぎやかさ、都会的な雰囲気を求める傾向も多い。
- 中山間地域に暮らす生徒は、自然や地域のつながりを求める割合が若干高い。
- H29と比べ、「レジャー施設の多いまち」「子どもが安心して育ち、暮らせるまち」が増加。



※その他  
大型店、専門店、ゲームセンター、アウトレット、商店街などがある、車の本数が多い

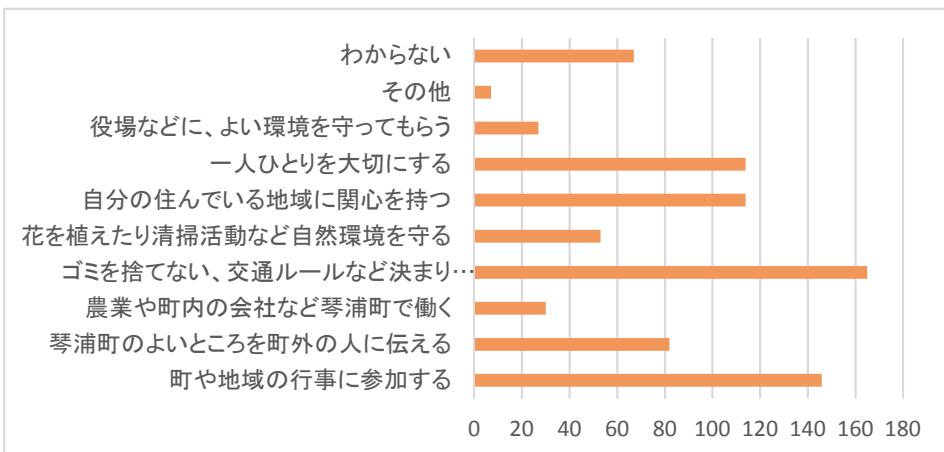
【問15】 琴浦町を良くしたり、元気にしたいと思いますか。

- およそ半数以上が良くしたいと考えており、琴浦町への愛着がみられる。
- 「思わない」「どちらとも言えない」はH29より若干増加。関心の低さが課題と考える。



【問16】 魅力的で住みたいと思えるまちとするために、今後あなた自身は何ができると思いますか。

- 中学生の立場でできることとしては、ルールを守ることや、地域の行事に参加するといった回答が多い。
- H29に比べ、「琴浦町の良いところを町外の人に伝える」とする割合が増加。



※その他  
大型店をつくる、大企業が起業、交通機関をよくする、ルールを守る、一人ひとりを大切にする



【東伯中1年生のみ】

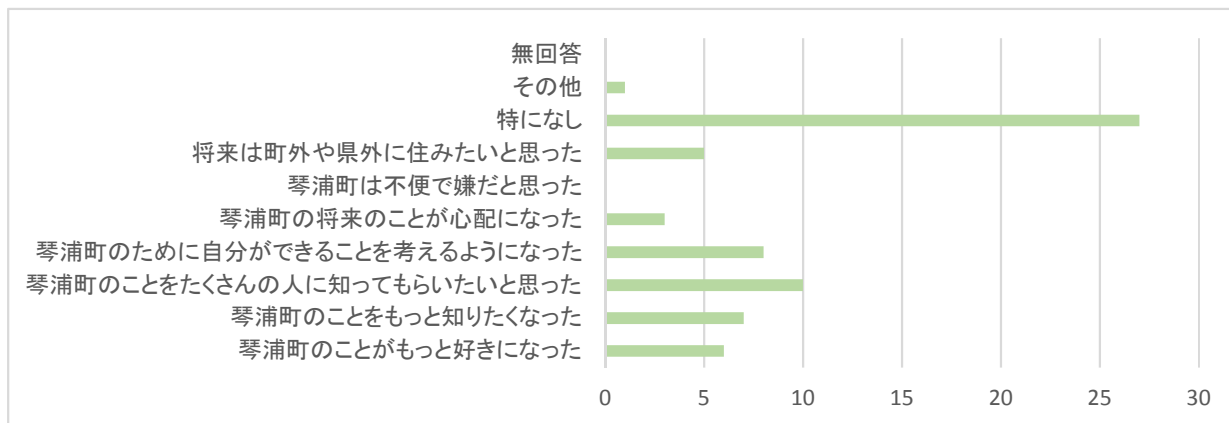
【問17】 今年の「総合的な学習の時間」の中で、気持ちが変化したことがありますか。

総合的な学習の時間

東伯中学校1年生は今年度、総合的な学習の時間「ええが〜・ことうら！〜私たちの町”琴浦”の素晴らしさを見つけよう〜」に取り組みました。

琴浦町について色々な角度から調べ、町の良さや魅力に気づき、ふるさとに対する意識を高め、誇りをもてるようにという目的で取り組み、その内容については11月に開催された東伯中学校文化祭において発表しました。

- 少子高齢化が進む町の現状を知り、もっと多くの人に知ってもらったり、自分のできることを考えるようになったと答えた生徒がある反面、逆に町の将来が心配になるなど否定的に捉えた生徒がおよそ1割あり、継続してより深く知ることが必要と思われる。男女による回答の差は見られない。
- H29に比べ「特になし」との回答が大幅に増加。関心の低さがみられる。



【問18】 あなたがもし町長になったら、どのような町にしたいですか。それを実現するためにはどうしたらいいと思いますか。(自由記載)

イオンのような店をつくり、山陰道のインターチェンジで町外の人が下りてくれたらいい。店がたくさんある町。交通や買物が便利な町。通学や通勤が便利な町。特産品の収穫祭をする。バスの数を増やし、時間設定を変更する。冬や雨の日だけバス通の定期をつくる。

自然豊かでどんな人も安心して暮らせる町。交通事故や犯罪が少ない町。男女平等で一人ひとりが大切にされ、障がい者やお年寄りが暮らしやすい町。人の意見を聴く。いじめのない安心して暮らせる町。一人ひとりがルールを守る。地域の人とのつながりが強く町民に愛される町。琴浦町の良さをPRし、琴浦町に住みたいと思う人を増やす。人権問題を重要視したい。

農業や漁業をもっと盛んにして、自然豊かで食べ物が美味しい町にする。中高生、大学生の進学でもお金のサポートをし、進学しやすい町(年齢が上の子育て世代への支援)。学力の高い町(給付型奨学金制度を作る)

自然環境を守る。森林などの伐採を減らしイベントで植物を植えたり育てたりする。春夏秋冬花が見られるように、全部に植える花を配る。環境を守るための取組。田んぼがたくさんある町。どこよりもきれいに星が見れる場所をつくり県内外から来てもらう。二酸化炭素をなくす運動を琴浦町からしていく。

道路や役場や図書館など公共施設に町の観光マップを置く。町施設を町民が使いやすいようにする(施設職員の態度を直す)。町外に遊びに出してしまう人が多いので、町内施設のグレードアップ(ボルダリングなど)。観光を町内外にもっとPRする。若者がたくさん来る町。スポーツができる施設をつくる。外灯を増やす。本や文庫を整備する。スポーツに頑張る町にしたい。廃校などを利用して何かをする。子どもや大人がリラックスできるような場所をつくる。

イベントなどを増やし、楽しい町。子どもが楽しめる所を増やす。公園、遊園地、水族館、映画館を作る。町内で無料Wi-fiが使える町。今のイベントや祭り(白鳳祭)を継続し、資金が足りない場合は募金などをする。イベントや店が少ないので県内在住の人にポイントを付けたりチケットを配る。SNSを活用し良さをアピールする。外国人に、また来たいと思ってもらえるよう観光に力を入れる。他の県から注目されるような町に。町のPR動画を撮る。

今よりもっと良い町にする。色々な建物を作って琴浦町を発展させる。最先端の技術をそろえた施設が並び活気良くする。税金を正しく使う。AIなど技術を活用。道を広くする。大型店を作る。土地を増やす。人口を増やすため、子どもの多い家庭に援助。3人産んだら何かが無料とする(おむつなど)。人口を維持していくのは難しい、高齢者への支援に力を入れることが重要。災害に強い町。災害対策。若者が流出しない、仕事や集まる場所がある町。中高生に意見を聞いて、それをつくる。町民に積極的に意見を聞く。学校に行って楽しい町。改革する。勉強も会社もなく、自由に暮らす。便利な町。

今と同じようにしていく。町予算を計画的に立て、必要最小限のことにお金を使う。子どもにお金をかけすぎず、困っている人に積極的にお金をかける。今までの良いところを継続し、もう少し活気のある町にしたい。琴浦町の過疎化への対策を知って、頑張っているなあと思った。借金が多過ぎて何もできない。



## アンケート結果から

このアンケートは、将来の社会を担っていく琴浦町の中学生が、地元地域に対し、どのような思いを持っているかを知り、今後の地方創生の取り組みに生かそうと実施したものです。

その結果、多くの生徒が琴浦町を好きだと答え、暮らしにはおおむね満足はしているものの、交通機関や買物などの不便さや、レジャーやイベント、芸術などの楽しみに関しては満足度が低い傾向にありました。

中学生という年代では、ほとんどの生徒がふるさと以外での生活を知らない中で、進学や将来の職業などで都会に目が向くのは仕方のないことです。

これまでと違う場所での経験や発見、刺激も人生の中では大切であり、新たな生活の中から、故郷への思いが生まれてくることも多いのではと考えています。

もちろん、地元が好きだと思うことと、地元に残るか離れるかの選択は個人のものでありますが、中学生までの若い時期に、いかに琴浦町の良さを知り、語れるか、そのことが大人になってからの懐かしさ、そして愛着や誇りに繋がってくると考えています。

町では、中学生までの年代に少しでも琴浦町に関心を持ち、大人になったときに、どこで暮らしていても故郷に愛着や誇りを感じ、関心を持ち続けられる人を育てるため、引き続き様々な取り組みを進めていきたいと考えています。